

かめだ図書館だより

新潟市立亀田図書館（江南区文化会館内）第32号 令和3年3月発行



赤ちゃんから大人まで

親子で楽しめる子ども図書室



子ども図書室ではお子さんとそのご家族向けに、たくさんの本を取り揃えています！

詳しくは中面をご覧ください → → →

【蔵書点検終了しました】

2月17日から24日まで蔵書点検を行いました。休館中にご不便をおかけしました。

この期間には、約8万点の本や雑誌、CD・DVDなどが行方不明になっていないか、また順番通りにきちんと並んでいるか確認したり、皆様が利用しやすいよう、配置の変更などを行ったりしました。

主な変更点は次の2か所です。



1階 一般書コーナー

本が多くて探しにくかった料理の本を、
『料理（レシピ）』
『パン・お菓子（レシピ）』
『梅』 に分けました。

俳句雑誌のバックナンバーを2階通路側の本棚に移しました。



2階 特別コレクション室脇

亀田図書館 子ども図書室へようこそ！

おはなしのじかん

絵本の読み聞かせや手遊びが楽しめる『おはなしのじかん』を開催しています。参加は無料、事前の申し込みは不要です。
どうぞお気軽にお越しください。

対象：乳幼児から
日時：第1・第3土曜日
第2・第4水曜日
第4日曜日
午前10時30分から
(およそ20分間)
場所：江南区文化会館保育室
または 亀田図書館子ども図書室

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため人数を制限しています。

終了後に、職員による絵本相談タイムも設けています。
「子どもに絵本を読むのっていいことなの？」
「おすすめの絵本は？」など、お気軽にお問合せ下さい。

♪スタンプカードも配布中♪

「おはなしのじかん」に参加すると、新潟市の図書館共通のスタンプカードにスタンプを押します。
5コ集めるとプレゼントがもらえます。何がもらえるかは楽しみに！

密にならないように
距離を空けて座っています。



紙しばい・大型絵本



「おはなしのへや」は、くつを脱いで自由に本を読める場所です。
部屋に置いてある紙しばいや大型絵本は借りることもできます。

大型絵本はこんなに大きいよ！

絵本コーナー

たくさんある絵本を探しやすいよう、5色のシールで内容・対象別に分けています。

赤ちゃんの絵本
(ピンク)

ちしきの絵本
(みどり)

日本のおはなし
(あか)

外国のおはなし
(あお)

むかしばなし
(オレンジ)

ここです

絵を描いた人のあいうえお順に並べています



赤ちゃんタイム

赤ちゃんや小さなお子さんとそのご家族が気軽にご利用いただけるよう、下記の日程で「赤ちゃんタイム」を実施しています。

図書館内が少しにぎやかになることにご理解いただいている時間ですので、お気軽にお越しください。

日時：毎週火・水曜日
(第1水曜日を除く)
午前10時から午後1時

★毎月第2・4水曜日は
赤ちゃんタイム中に
「おはなしのじかん」があります

おはなしのへや

E1
あかちゃんの
絵本

E2
ちしきの
絵本

E3
日本の
おはなし

E4
外国の
おはなし

E5
むかし
ばなし

子育て支援 コーナー

はいくコーナー

江南区で昔から俳句が盛んだったことにちなみ、俳句関連の児童書を集めたコーナーを設けています。
(このほか、2階には一般向けの俳句資料を集めた特別コレクション室があります)

0歳からつくれる！貸出カード

図書館のカードは、0歳からつくることができます。お子さんご自身の保険証、または、同居されているご家族のお名前・ご住所が確認できる書類（免許証など）があれば、その場で作成できます。



「おはなしのじかん」では現在、以下のことをお願いしています。



手指の消毒



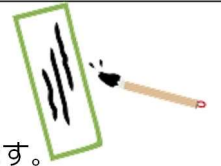
マスクの着用
(お子様は可能な限り)



お名前・電話番号の記載

子ども図書室へ
レッツゴー♪

俳句の窓



江南区は昔から俳句が盛んな土地柄です。

地域の俳人・小嶋紅円さんから、江南区にゆかりのある俳人の句を紹介していただきます。

いいで ご ず しゅんぎょう
飯豊五頭より 春 暁の始まりし
はやと
長谷川隼人

医学生の頃から俳句を親しんだ作者は、亀田第一病院の脊椎外科医で、病院俳句会の代表。春の明け方の空が、奥の残雪を被った飯豊連峰、手前の五頭嶺から始まることを詠まれた。夜明けの雄大な春の山系の景色を写生された一句。

たい はる た
平らかに春田五頭まで弥彦まで
中平啓子

亀田第一病院の医師として長年勤務し、病院俳句会設立時からメンバーとして活躍されてきた作者が、地元の風景を詠まれた。広々とした春の田を見渡せば、一方五頭の嶺、反対側弥彦連山。この蒲原郷を平らかにと表された一句。



小嶋紅円さん…本名、小嶋健一。江南区下早通在住。田村山火・紅子夫妻に俳句を教わる。俳誌「雪」に投句。著書：『世継楯』（俳句・俳文集）、『続世継楯』

おすすめの本

『新潟県民性の民俗史』

県民性の再生産 ことわざ・くらし・雪の系譜』
伊藤 充／著 新潟日報事業社 2020 年

新潟県のこどもの気質が 100 年前から変わっていないと断言する著者が、受け継がれてきた県民性を民俗伝承の観点から検証します。

県民性の“再生産”なんて難しいことを考えなくても、お馴染みの言い伝えやことわざの背景を知るための読み物として楽しめます。伝承ごとに参考文献の紹介が付いているのもお勧めしたいポイントです。

小さい頃から「ご飯の盛り替えのことをどうして『オタチ』っていうのかな？」と不思議に思っていました。思いがけずその謎も解け、スッキリしました。



図書館職員 大野

『明日話したくなるお金の歴史』

阿部 泉／執筆・監修 清水書院 2020 年

高度な偽造防止技術を備えた、現代の通貨。この姿に至るまで、お金はどのように変化してきたのでしょうか。紙幣にまつわるキャラが案内役となり、興味深いエピソードを交えながら、わかりやすく解説します。

加えて、紙幣の肖像人物を各2ページの伝記で紹介。令和6年発行の新紙幣もとり上げられています。中でも、今話題の渋沢栄一は昭和時代にも千円券の最終候補に挙がったのですが、

ある意外な理由により伊藤博文が選ばれました。その理由とは…？

中高生から大人までおすすめの、読みごたえある一冊です。



図書館職員 長谷川

「かめだ図書館だより」第 32 号・令和 3 年 3 月発行（年 4 回発行）

編集・発行 新潟市立亀田図書館（新潟市江南区文化会館内）

新潟市江南区茅野山 3-1-14

電話：025 (382) 4696 FAX：025 (381) 8003

ホームページ：https://www.niigatacitylib.jp

メールアドレス：kameda.cl@city.niigata.lg.jp